

C-7 個に応じた指導

1. 同じめあてをもつ仲間

第三次では、同じめあてをもった者同士でペアやグループを作り、活動に取り組んだ。体を動かすことをあまり好まない児童にとっては、友だちとかかわりあいながら活動することの楽しさが味わえ、また、同じ目的をもつ仲間の動きに刺激されて自分も動こうとするなど互いに高め合おうとする様子が見られた。

2. 活動内容の選択

みんなが同じ運動に取り組むばかりでなく、いくつかの活動内容を提示しその中から自分（たち）で選んで行えるような場面を取り入れた。自分が選んだものに取り組むことで、活動への興味・関心、意欲の高まりが期待できると考えた。

限られた時間内では取り組める運動には限界があったことから、「次時では〇〇をやってみよう」との意欲的な声も聞くことができた。

3. 声をかける・ほめる

「うまくなったね。」「ナイス・タイミング!」「おもしろいこと考えたね。」などちょっとしたことにもどンドン声かけをする、動きの工夫や高まりが見られたらほめるといった関心・意欲・態度の観点への支援が、児童にとってはやはり一番であったと思われる。